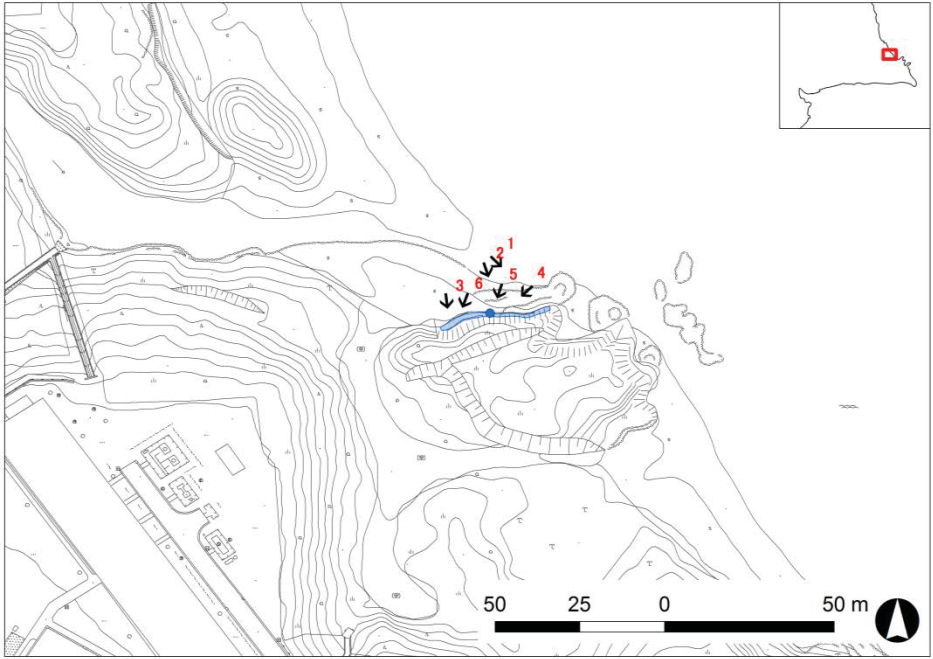


付表- 4.2.2.10(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.834)

No.	834
種類	嘉陽層の露頭(互層)
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 820m の辺野古崎北方海岸の北向きの海食崖にみられる嘉陽層の砂岩・泥岩が卓越する互層である。</p> <p>露頭に向かって右側(西側)の崖の一部が崩落し、その脚部に崩落した土砂が堆積している。</p>
位置	 <div data-bbox="411 1265 845 1433" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.834 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 34.7474" ・経度:128° 02' 53.4498" ・標高(EL):1.748m ・標高(DL):2.911m </div>
形状・構造	<p>辺野古美謝川河口の右岸側の高さ約 5~6m の露頭で、東北東~南南西方向の幅約 30m の崖面である。地質は嘉陽層の互層である。</p>
規模	<p>幅約 30m、高さ約 5~6m の露頭。</p>
その他 (保存状態)	<p>向かって右側(陸側)の露頭は幅約 15m に渡って崩落し、崩落面の前面に崩落した砂礫が堆積している。</p>

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.834 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 34.7474"
- ・経度:128° 02' 53.4498"
- ・標高(EL):1.748m
- ・標高(DL):2.911m



調査地点:No.834(嘉陽層の露頭(互層))

撮影日時:2014.6.27 16:11



位置情報:緯度 26° 31' 35.04"
経度 128° 02' 53.23"
撮影方向:東



位置情報:緯度 26° 31' 34.85"
経度 128° 02' 53.23"
撮影方向:南東



位置情報:緯度 26° 31' 35.03"
経度 128° 02' 53.60"
撮影方向:南南西



位置情報:緯度 26° 31' 34.83"
経度 128° 02' 53.89"
撮影方向:南西

写真



写真 (No.834①)
露頭に向かって左側(海側)に嘉陽層の互層が縞状にみられる。褶曲は特に見られない。



写真 (No.834②)
同上。
露頭の前面は、美謝川の河口右岸にあたり、広く砂礫が堆積している。



写真 (No.834③)
同上。

写真



写真 (No.834④)
嘉陽層の砂岩・泥岩
が卓越する互層。
走向・傾斜は、
N60W、20° (NE)
で、北東向きに傾い
ている。

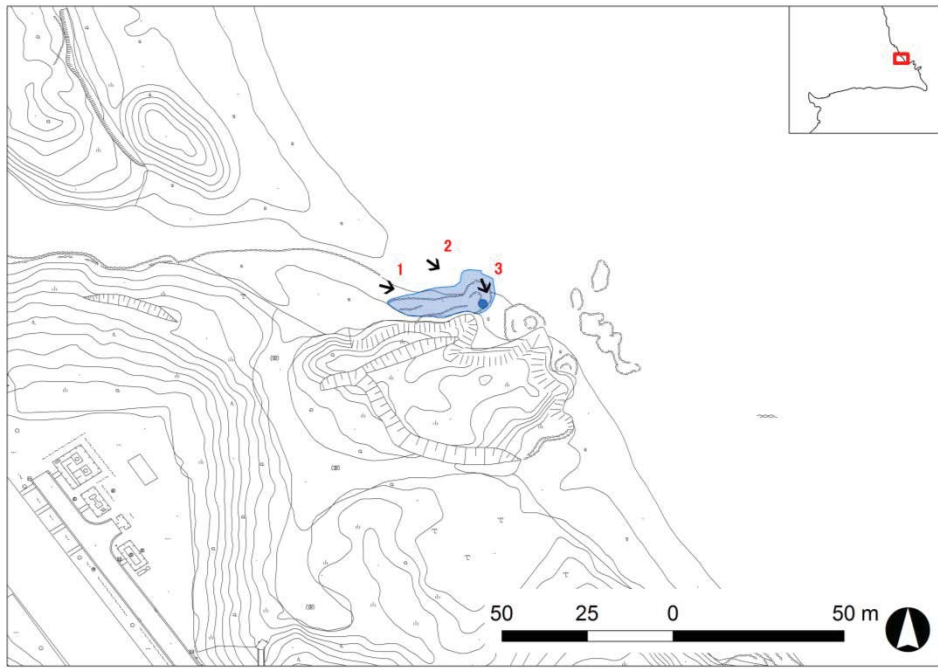


写真 (No.834⑤)
露頭の向かって右
側(陸側)は幅約
15m にわたって崩落
し、崩落土砂がその
脚部に堆積してい
る。



写真 (No.834⑥)
同上。

付表- 4. 2. 2. 11(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No. 99)

No.	99
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 830m の辺野古崎北方海岸の No.834 の嘉陽層の互層の前面にみられる波蝕棚である。</p> <p>沖合に向かって幅約 20m の比較的狭い波蝕棚である。</p>
位置	 <div data-bbox="406 1216 842 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.99 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31′ 34.9140″ ・経度:128° 02′ 54.1808″ ・標高(EL):0.667m ・標高(DL):1.830m </div>
形状・構造	海蝕崖の前面に連続する波蝕棚。
規模	海岸線の幅約 30m、沖合に向かって約 20m の範囲。
その他 (保存状態)	保存状態は比較的良好であるが、海岸線には砂が堆積し、波蝕棚を覆っている。

代表地点の周辺 4 方向からの写真

【No.99 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 34.9140"
- ・経度:128° 02' 54.1808"
- ・標高(EL):0.667m
- ・標高(DL):1.830m



業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形変更区域における 重要な地形・地質記録 地形・地質の記録
調査地点	代替施設本体 99
期日	平成 26 年 6 月 27 日
受注者	(株)ブレック研究所

調査地点:No.99(波蝕棚)

撮影日時:2014.6.27 16:02



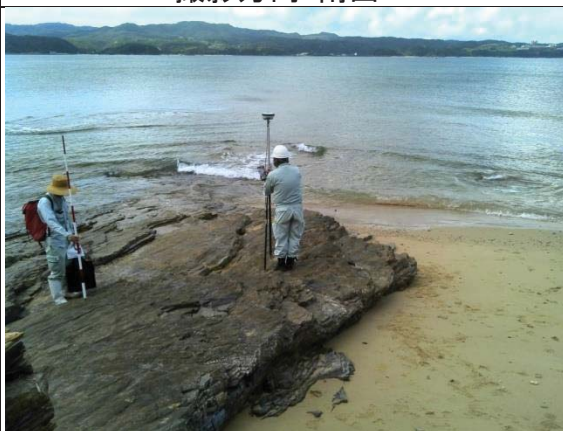
位置情報:緯度 26° 31' 35.14"
経度 128° 02' 53.84"
撮影方向:東



位置情報:緯度 26° 31' 35.09"
経度 128° 02' 54.37"
撮影方向:南西



位置情報:緯度 26° 31' 34.79"
経度 128° 02' 54.55"
撮影方向:北西



位置情報:緯度 26° 31' 34.75"
経度 128° 02' 54.12"
撮影方向:北

写真



写真 (No.99①)
No.834 の嘉陽層の互層が観察できる海蝕崖に接し、その前面に見られる波蝕棚で、規模は比較的小さい。

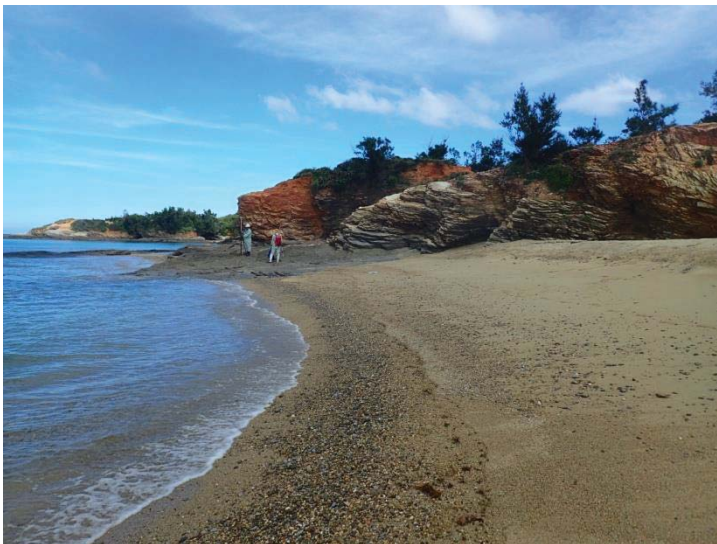



写真 (No.99②)
同上。
波蝕棚の北側は美謝川の河口で、周辺は砂が堆積し、波蝕棚も埋まりつつある。



写真 (No.99③)
波蝕棚の地質は嘉陽層の砂岩・泥岩の互層である。
走向・傾斜は、N70W、18° (NNE) で、北北東向きに傾いている。

付表- 4.2.2.12(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果 (No. 100)

No.	100
種類	嘉陽層の露頭(断層)
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日
概要	<p>辺野古崎の北西約 800m に位置する海蝕崖の湾入部(凹部)には、幾つもの逆断層を伴う嘉陽層の互層の露頭がみられる。断層面に沿って、断層活動に伴い岩石が破碎し細粒化して生成された断層破碎帯粘土がみられる。この露頭は、「名護・やんばるの地質」(名護博物館、2011)の p112 の第 12.138 図に逆断層を伴う嘉陽層の互層として紹介されている。</p>
位置	 <div data-bbox="400 1373 836 1543" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.100 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度: 26° 31' 34.4456" ・経度: 128° 02' 53.9010" ・標高(EL): 2.679m ・標高(DL): 3.842m </div>
形状・構造	海蝕崖の湾入部(凹部)付近に高さ約 5m の露頭が幅約 30m にわたってみられ、幾つもの逆断層が発達する。褶曲はあまり発達していない。
規模	高さ約 5m、幅約 30m の露頭。
その他 (保存状態)	保存状態は比較的良好である。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.100 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 34.4456"
- ・経度:128° 02' 53.9010"
- ・標高(EL):2.679m
- ・標高(DL):3.842m



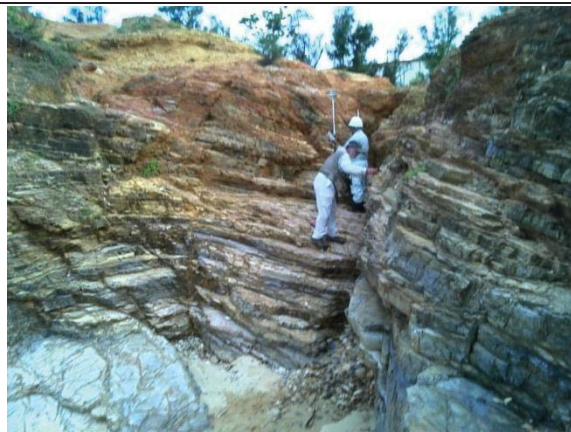
業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形改変区域における 重要な地形・地質記録 地形・地質の記録
調査地点	代替施設本体100
期日	平成26年6月27日
受注者	(株)ブレック研究所

調査地点:No.100(嘉陽層の露頭(断層))

撮影日時:2014.6.27 15:50



位置情報:緯度 26° 31' 34.61"
経度 128° 02' 54.32"
撮影方向:西南西



位置情報:緯度 26° 31' 34.71"
経度 128° 02' 54.15"
撮影方向:南西



位置情報:緯度 26° 31' 34.43"
経度 128° 02' 53.83"
撮影方向:北西



位置情報:緯度 26° 31' 34.46"
経度 128° 02' 54.15"
撮影方向:西北西

写真



写真 (No.100①)
内陸に向かって大きく湾入した海蝕崖の露頭に幾つもの逆断層が観察される。



写真 (No.100②)
同上。
「名護・やんばるの地質」(名護博物館、2011)の p112 の第 12.138 図に逆断層を伴う嘉陽層の互層として紹介されている写真は、多少撮影地点・撮影方向にずれがあるものの、ほぼこの写真に一致している。



写真 (No.100③)
同上。

写真



写真 (No.100④)
同上。
海蝕崖の露頭の下
部に波の浸食ででき
たと考えられる形成
途中の小さな海蝕洞
がみられる。



写真 (No.100⑤)
同上。
断層面に沿って、激
しい断層活動により
岩石が破碎・細粒化
して生成された断層
破碎帯の粘土層が
みられる。
走向・傾斜は、
S60W、22° (NW)で
ある。



写真 (No.100⑥)
同上。

写真



写真 (No.100⑦)
逆断層と断層面に沿った断層破碎帯粘土。

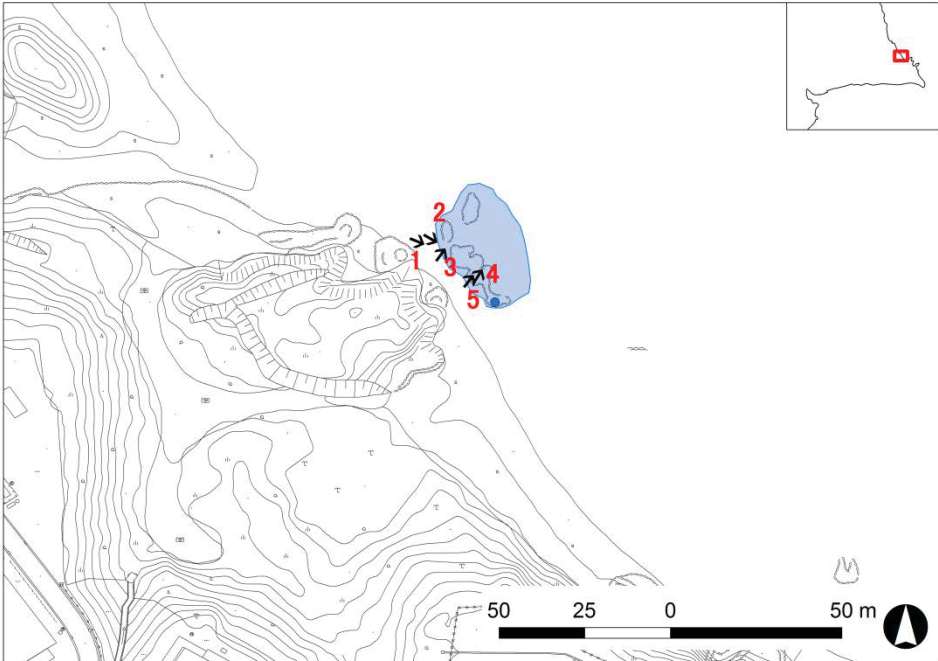


写真 (No.100⑧)
同上。



写真 (No.100⑨)
嘉陽層の砂泥の互層。
この露頭には逆断層が多く観察されるが、褶曲はあまり発達していない。

付表- 4.2.2.13(1) 重要な地形・地質の記録の整理結果(No.102)

No.	102
種類	波蝕棚
調査年月日	平成 26(西暦 2014)年 6 月 27 日
概要	辺野古崎の北西約 750m の辺野古崎北方海岸の美謝川河口右岸付近にみられる波蝕棚である。海蝕棚から砂浜を挟んで 10~20m 離れた場所にある。
位置	 <div data-bbox="411 1267 849 1435" style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>【No.102 観測点座標】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・緯度:26° 31' 34.2919" ・経度:128° 02' 55.5255 ・標高(EL):0.059m ・標高(DL):1.222m </div>
形状・構造	海蝕崖より10m~20mの位置、砂浜より5m沖合の位置に海岸線の幅約40m、沖合に向かって約30mの広がりを持つ波蝕谷がみられる。
規模	海岸線の幅約40m、沖合に向かって約30mの範囲。
その他 (保存状態)	保存状態は比較的良好であるが、周辺は砂が堆積する。

代表地点の周辺4方向からの写真

【No.102 観測点座標】

- ・緯度:26° 31' 34.2919"
- ・経度:128° 02' 55.5255"
- ・標高(EL):0.059m
- ・標高(DL):1.222m



業務名	シュワブ(H25)陸域生物等調査検討
項目	地形改変区域における 重要な地形・地質記録 地形・地質の記録
調査地点	代替施設本体102
期日	平成26年6月27日
受注者	(株)ブレック研究所

調査地点:No.102(波蝕棚)

撮影日時:2014.6.27 15:27



位置情報:緯度 26° 31' 34.06"
経度 128° 02' 55.63"
撮影方向:西北西



位置情報:緯度 26° 31' 34.23"
経度 128° 02' 55.23"
撮影方向:北東



位置情報:緯度 26° 31' 34.47"
経度 128° 02' 55.18"
撮影方向:東南東



位置情報:緯度 26° 31' 34.36"
経度 128° 02' 55.77"
撮影方向:北西